

活動案内

経営革新を推進する
一般社団法人日本能率協会



一般社団法人日本能率協会

<https://www.jma.or.jp/>

- 本部 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
Tel. 03-3434-1601
- 関西事務所 〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー19階
Tel. 06-4797-2050
- 中部事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-26-25 メイフィス名駅ビル6階
Tel. 052-581-3271

日本の経営革新、 世界と社会と共に。

日本能率協会(JMA)は、1942年に創立された「経営革新の推進機関」です。
協会名の由来である「能率」は現代に継承される、マネジメントの基本です。
能率の精神は、人の「能力」、設備の「性能」、材料の「機能」を活かしきること。
なかでもひととき重要なのは“人”です。
人は環境や心の持ちようによって、無限の成長を遂げるからです。
こうした価値観のもと、JMAは日本産業界の皆さまと共に、
人を中心とした経営革新に力を注いでまいりました。

いま、私たちを取り巻く環境は、大きな変化にさらされています。
このような時代に経営革新、すなわち連続的なイノベーションを生み出すには、
立場を超えて多様な人たちが対話を重ね、パッションを共有することが重要です。
そのための“人づくり”“組織づくり”“仕組みづくり”こそ、
これからの日本産業界に対するJMAの責任だと考えています。
日本産業界から生まれるイノベーションが世界、そして社会を変えると信じています。
これからも、私たちは日本産業界と共に成長しつづけていくための事業を推進し、
よりよい社会の実現に向け邁進してまいります。

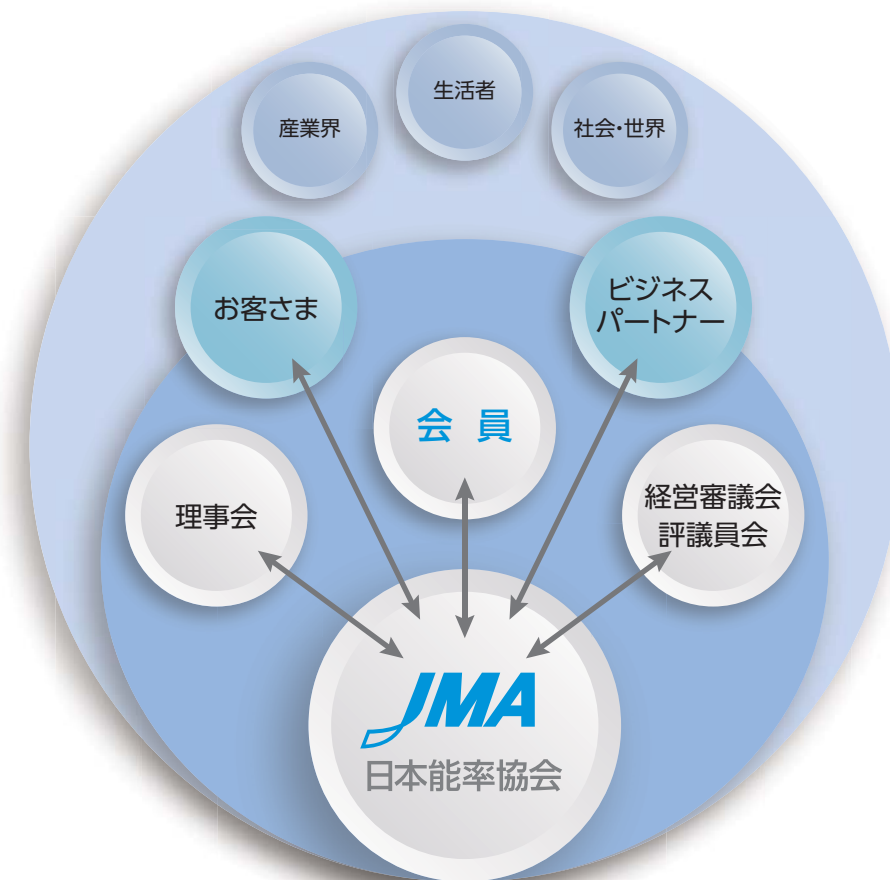
一般社団法人日本能率協会 会長

中村正己



日本能率協会(JMA)は「経営革新の推進機関」として、
産業界の健全な発展を先導します。

人と組織、さらには世界との架け橋となり、活気と調和のある社会の実現をめざします。



現在から将来にわたる経営課題や社会課題について、産業界と共に考えます。
会員をはじめ、理事会、評議員会、経営審議会を通じ、
皆さまの声を直接お聞きし、革新の方向を探ります。

JMAグループ

産業界・社会の課題を解決する専門家集団

●生産技術開発・普及・人材育成・資格認定、TPM賞

JPM

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

●工業英語能力検定試験、工業英語普及

JSTC

公益社団法人 日本工業英語協会

●企業情報化の調査研究、開発、普及

JETC

公益社団法人 企業情報化協会

●ITコンサルティング・ソフトウェア開発

JMAS

株式会社 ジェーエムエーシステムズ

●経営コンサルティング、人材育成、教材開発

JMAC

株式会社 日本能率協会コンサルティング

●受託調査、会員制マーケティング情報サービス

JMAR

株式会社 日本能率協会総合研究所

●手帳、ビジネス書籍出版、人材育成

JMAM

株式会社 日本能率協会マネジメントセンター

●グループ連携促進、ビルマネジメント

JMAHD

株式会社 JMAホールディングス

日本能率協会の歴史

日本産業界と共に歩むJMA。
経営革新推進の軌跡。

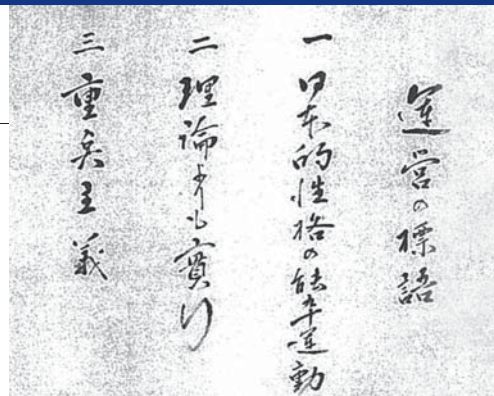
1940年代 1950年代 1960年代 1970年代 1980年代 1990年代 2000年代 2010年代

戦後経済復興に向かって 日本経済の成長とともに バブル経済とその崩壊 グローバル化、ICT化の進展 変化と再生の時代へ

- 1942年 ● 日本能率協会創立
- 1947年 ● 戦後第1回生産技術者講習会（略称Pコース）開催
- 1949年 ● 能率手帳発行
- 1951年 月刊『マネジメント』創刊
- 1957年 『マネジメントニュース』創刊
- 1960年 ● 第1回メンテナンス・ショー開催
- 1961年 経営幹部養成コース（EDC）開講
- 1965年 第1回マーケティング総合会議（現・マーケティング総合大会）開催
- 1968年 『こんな幹部は辞表を書け』刊行、ベストセラーに
- 1972年 創立30周年記念事業、
- 1973年 第1回国際ホテルレストラン・ショー開催
- 1974年 IE土養成コース開講
- 1976年 ● 第1回国際食品展（現・FOODEX JAPAN）開催
- 1977年 初のJMA洋上大学に400人参加
- 1978年 第1回提言「世界最適経営革新」発表
- 1982年 新任取締役セミナー開講
- 1984年 「総合生産性優秀賞（TP賞）」創設
- 1987年 第1回能力開発総合大会（現・KAIKAカンファレンス）開催
- 1988年 「JMAマネジメントスクール」設置
- 1989年 「JMA総合マーケティング優秀メーカー賞」創設（現・FOODEX JAPAN）開催
- 1989年 経営革新研究所設置
- 1990年 ● JMAマネジメント・インスティテュート開講
- 1994年 ● JMA審査登録センター（JMAQA）設置
- 1995年 経営実務情報誌 『JMAマネジメントレビュー』創刊
- 1999年 新たな企業の発展・成長をめざす 経営革新提言「環境経営」発表
- 2002年 創立60周年記念事業 「トップマネジメントカンファレンス」開催
- 2003年 経営革新提言「競争優位をめざす 独創的な高付加価値経営への挑戦」発表
- 2004年 ● 「日本CTOフォーラム」創設
- 2006年 JMAグローバルビジネスリーダーコース開講
- 2007年 地球温暖化対策室支援室設置
- 2007年 ものづくり改善月間キャンペーン2007展開
- 2011年 優良工場表彰制度 「GOOD FACTORY賞」創設
- 2012年 経営革新提言「共進歩の提唱」発表
- 2013年 アジア共進歩センター設立
- 2014年 ● 第1回「KAIKA Awards」決定
- 2015年 ドイツメッセ社と提携、日本代表部設置
- 2016年 第1回国際ドローン展開催
- 2016年 JGAP認証事業に参入
- 2017年 「KAIKA経営の実践」を発表
- 2017年 創立75周年を迎える
- タイ・バンコク「GENBA Management Conference & Award」初開催

1942 日本能率協会創立

日本能率連合会と日本工業協会の2大能率団体が岸信介商工大臣の斡旋により統合、日本能率協会創立。初代会長の伍堂卓雄が示した「運営の三原則」（日本的性格の能率運動・理論よりも実行・重点主義）は、JMAの根幹である。



1960 第1回メンテナンス・ショー開催

欧米で盛んな「ショー＆カンファレンス」を日本に本格導入。人と技術・製品が交流する場として業界関係者より支持され、日本産業界発展のための基盤となった。現在では幅広い分野で専門展示会を開催している。



1994 JMA審査登録センター（JMAQA）設置

産業界のさまざまな領域でグローバルな基準への対応が求められるようになったことを背景に、1994年に国際標準規格ISOの審査機関として活動を開始。第三者審査登録、ISO研修などを通じ、経営品質向上のための支援を行っている。



1947 戦後第1回生産技術者講習会（略称Pコース）開催

疲弊した経済状況を克服するため、「ものづくり日本」の基盤構築と、実際の生産活動を担う技術者の養成に着手。1947年に、戦後初の「生産技術者講習会」（Pコース）を開始。後の人材育成事業につながっていく。



1976 第1回国際食品展（現・FOODEX JAPAN）開催

世界約80カ国が出展する食品・飲料展示会「FOODEX JAPAN」は1976年に誕生。「ワインブーム」「イタメン」など食の流行の発信基地となるなど、日本の経済発展や嗜好の多様化と共に拡大、アジア最大級の展示会に成長した。



2004 「日本CTOフォーラム」創設

これからの日本企業の競争力強化の源泉は研究・開発やイノベーションであるとの認識のもと、共通課題について議論や分析を深める場として「日本CTOフォーラム」を創設。日本を代表する企業の最高技術責任者（CTO）が参画している。

1949 「能率手帳」発行

日本で初めて「時間目盛り」を用いた手帳としてベストセラーになる。時間目盛りにこだわったのは、生産性を高めるには時間を軸にした管理が重要であるため。日々PDCAを管理するツールとして、今も多くの愛用者に支えられている。



1990 JMAマネジメント・インスティテュート開講

新しい時代・未来を切り拓く経営者・幹部育成のための本格的な長期教育機関として、JMAマネジメント・インスティテュート（JMI）を開講。以来、時代の要請に即した実践的なプログラムを実施。これまで4,000人以上が修了している。



2014 第1回「KAIKA Awards」決定

組織風土や意識の改革、イノベーションのしくみづくり、社会課題解決などの活動事例を表彰する「KAIKA Awards」。これからの経営・組織づくりのヒントになる取組みを紹介するものとして注目されている。



高品質で実践的なサービス それが“課題解決No.1”へのこだわりです

日本能率協会(JMA)は、「人材育成・組織開発」「ものづくり支援」「産業振興」「ISO審査・第三者認証」の4事業により、あらゆる経営課題解決を支援しています。

また重点活動として、「KAIKA」「アジア共・進化」の2テーマを掲げ、新たな領域に挑戦しています。

そのベースには、長年取り組んできたマネジメントに関する調査・研究と、

約1,350社・団体からなる会員のネットワークがあります。

会員をはじめとする産業界の皆さまに最大の満足をご提供すべく、

常に高品質で実践的なサービスを開発し、

提供しつづけること、これがJMAの使命であり、

役職員一人ひとりのこだわりです。



P8-9
ものづくり支援

- ものづくり人材強化
- 表彰&優秀事例発表会
- ものづくり資格制度

P6-7
**人材育成
組織開発**

- 経営者・幹部育成
- 部門別・階層別研修、
先進事例発表会
- 個別課題解決
(講師派遣、調査など)

P14
KAIKA

「個人の成長」
「組織の活性化」
「組織の社会性」
の同時実現をめざす
KAIKA経営の普及

P15
アジア共・進化

アジア、特にASEAN地域
との
未来志向の価値創造を
促進する活動

P10-11
産業振興

- 専門展示会
- 開発・技術研修
シンポジウム
- 海外出展・来場支援
(ドイツメッセ社主催展示会)

P12-13
**ISO審査
温室効果ガス検証
第三者認証**

- ISO審査
- ISO研修
- 温室効果ガス検証
- 経営VI事業

P16
調査・研究

マネジメントに関する
調査研究
産業界の経営指針となる
提言の発信

日本の経営革新 × 学びと成長

企業経営の要である「ひと」の力を最大にすることを通じ、
新たな経営・組織づくりに貢献します。

経営者・幹部育成

経営者・幹部に特化した、
他流試合による相互学習と新たな気づきの場

JMA 経営者・幹部



部門別・階層別研修 先進事例発表会

部門特有の業務知識や専門能力の獲得と、役職に応じたリーダーシップ、マネジメント能力を高める場

JMA スクール

個別課題解決 (講師派遣、 調査など)

— 企業・学校・自治体

「ひと」「組織」「仕組み」に関する
個別課題解決の場

JMA 個別課題

1 経営者・幹部育成

社長・役員向けプログラムのほか、次世代経営者・幹部育成のための長期プログラムを開催。
多様な業種から精鋭の受講者が集い、経営の本質に踏み込んだ議論を行います。

■ 対象、目的により選べる充実のプログラム構成

社長	社長セミナー
役員	経営革新塾、CDP(Company Direction Program) 新任取締役セミナー、新任執行役員セミナー ほか
部長	部長のためのエグゼクティブ・マネジメントコース EBLアドバンストマネジメントコース エグゼクティブ・ビジネスリーダーコース
課長	事業創造イノベーションコース プロフェッショナル・ビジネスリーダーコース 生産・開発マネジメントコース



学びと気づきが強い組織をつくります
経営を支えるのは「ひと」です。私たちは、自ら学び、気づき、成長するための支援を徹底的に行います。一人ひとりの成長が組織を活性化させ、さらに社会的存在感を高める、私たちはそう信じています。



2 部門別・階層別研修、先進事例発表会

人事・教育、マーケティングなど部門特有のスキルアップ研修や先進事例発表会のほか、それぞれの役職に求められる能力開発研修など、年間1,000本以上の公開型研修を開催しています。

部門別研修	階層別・ビジネススキル研修	先進事例発表会
人事・人材開発 組織開発 マーケティング 営業 ほか	リーダーシップ 昇格者研修 思考力・実行力 新入社員研修 ほか	KAICAカンファレンス マーケティング総合大会



3 個別課題解決(講師派遣、調査など) — 企業・学校・自治体

経営、組織づくりにおける課題をお客さまと一緒に見つけ、解決に向けた具体策を導き出します。

■ サービスメニュー ● 教育プログラム構築・研修 ● 測定、診断、調査
● 制度設計 ほか

■ 主な実績(テーマ) ● 経営幹部育成 ● 中堅・若手育成
● 働き方改革支援 ● グローバルビジネスワークショップ
● 教育体系構築 ● 行政評価 ほか



日本の経営革新 × イノベーション

アジアで日本製造業に関する研究、情報発信・交流を通じ、ものづくり力強化とイノベーション創出に貢献します。

ものづくり人材強化

生産・製造から調達・購買、研究・開発、設計、技術部門まで、ものづくりに関わるあらゆる人の実践力を高める場

JMA ものづくりポータル 検索



表彰&優秀事例発表会

ものづくりの実力を試すと共に、相互の交流により、より高いレベルをめざす場

JMA 製造業 表彰 検索

ものづくり資格制度

ものづくり知識のチェックとレベルアップの場

JMA 製造業 資格 検索

1 ものづくり人材強化

生産・製造から調達・購買、研究・開発、設計、技術部門まで、ものづくりに関わるあらゆる人の実践力を高めるプログラムを提供しています。

徹底して、ものづくり実践力を磨きます

- ベーシックセミナーからプロフェッショナルコース、海外視察団まで目的に合わせお選びいただけます。
- 年に1度、ものづくり人材が集結し、互いを切磋琢磨する「ものづくり総合大会」を開催します。
- 長年の経験・知見を生かし、個別企業の課題解決を支援します。

製造業の課題解決をワンストップで支援

生産	調達・SCM	企画・開発	クオリティ
生産技術	購買	研究	品質保証
生産管理	調達	開発	品質管理
生産戦略	開発購買	設計	R&D
生産企画	SCM	R&D	商品企画
	購買戦略	商品企画	

人材・組織開発

人材育成・組織開発・理念浸透・ダイバーシティ

サービス形式

- ベーシックセミナー (1~3日間)
- 生産革新プロフェッショナルコース (全11日)
- 海外視察団 ● ものづくり総合大会(年1回) ● 個別企業支援 ほか



日本の製造業から世界のイノベーションへ

日本の製造業が起こすイノベーションが世界を変えると信じています。ものづくりは「ひとづくり」。私たちは、こうした信念のもと、常にお客さまの現場の声に耳を傾け、課題解決につながる実践プログラムをご提供していきます。

2 表彰&優秀事例発表会

企業のものづくり課題解決に向け、国内外を問わず他社の範となる優良な企業を表彰しています。また、受賞企業・組織による事例発表会も開催しています。

■ 第一線監督者の集い (名古屋・福岡・仙台・バンコク ほか)

第一線現場監督による“交流の場”。
参加者の投票による、最優秀事例の決定
※バンコク開催名称：JMA GENBA Management Conference & Award

■ GOOD FACTORY賞

日本およびアジア地域に進出している製造業の生産性や品質の向上、改善活動に成果をあげた工場を表彰



3 ものづくり資格制度

「生産技術者向け」「調達・購買担当者向け」「第一線監督者向け」の3つの資格試験

<CPE>

- 生産技術者のための資格試験

<CPP>

- 調達・購買担当者のための資格試験

<CPF>

- 第一線監督者のための資格試験



日本の経営革新 × 顧客創造

人・モノ・情報の交流と発信を通じて
グローバルワイドで産業界の活性化に貢献します。



専門展示会

多様な産業、企業、人との出会いから
新しい顧客・ビジネスを創出する場

JMA 展示会.com 検索



開発・技術研修 シンポジウム

最先端技術情報の発信と
R&Dマネジメント交流の場

JMA 開発・技術研修 検索

海外出展・来場支援 (ドイツメッセ社主催展示会)

世界最大級の産業見本市「ハノーバーメッセ」など
海外展示会出展・来場を通じたグローバル販路開拓の場

JMA ドイツ 検索

1 専門展示会 ～出会い、つながりを創出～

製造・インフラ産業から食・サービス産業まで、
幅広い分野で年間約30本の専門展示会を開催。
社会や時代のニーズを的確かつ迅速にとらえた
産業振興活動を行います。

開催展示会分野

観光/食関連	製造・生産設備・インフラ
住宅・建築・快適環境	食品加工・包装/物流
アグリビジネス	医療・福祉
環境・エネルギー	テクノロジー
交通・ビークル	OEM・PB



産業界の活性化に貢献する

人・モノ・情報が行き交う専門展示会に関わる産
業が多岐にわたっており、どこかで皆さまの仕
事や生活と関わっています。産業・業界・国の垣
根を越えた新しい出会い、つながりを探しに、
JMAの展示会をご活用ください。

2 開発・技術研修、シンポジウム ～技術力・開発力を強化～

日本企業の強みを活かした商品開発力、技術開発力、設計力の強化をめざし、
最新の技術情報の発信・交流、人材育成支援を行います。

開催テーマ例

● 固有技術

モータ技術、電源システム技術
製品安全技術、工作機械技術 ほか

● 研究・開発 (R&D)

開発・技術・研究部門リーダー養成
イノベーション力養成 ほか

● 技術英語

伝わる技術英語、図面の読み方・書き方
英文仕様書、英語プレゼンテーション ほか



3 海外出展・来場支援 (ドイツメッセ社主催展示会)

Deutsche Messe

日本能率協会は、2015年に世界有数の展示会主催企業ドイツメッセ社と提携。
世界最大級の産業見本市であるハノーバーメッセをはじめ、ハノーバー、上海、シカゴ
などで行われる各種専門展示会の出展・来場支援を行います。
中堅・中小企業も海外を視野に入れたビジネス展開が欠かせない時代、
ドイツをはじめ各国で海外市場開拓を後押しします。

ドイツメッセ社主催展示会例

HANNOVER MESSE
(ハノーバーメッセ/国際産業技術見本市)
CEBIT (セビット/国際情報通信技術見本市)
CeMAT (セマット/国際イントラロジスティクス見本市) ほか





日本の経営革新 × 最高品質審査

審査のプロとして、お客さま企業の商品・サービスの信頼性を高め、企業価値向上に貢献します

ISO審査(JMAQA)

経営品質向上に向けた15種類の審査登録
継続的な経営革新を実現する場

ISO審査はJMAQA



ISO研修

品質、環境、食品安全など
各種規格に対応した研修。
効果的運用に欠かせない情報
収集と交流の場

ISO研修はISOWEB



温室効果ガス検証

温室効果ガスの第三者検証
地球温暖化対策、環境経営を実現する場

温室効果ガス検証はJMACC

経営VI※事業

※VI: Value Innovation

- ・お客さまの事業状態を能率的に把握するサービスの提供(課題抽出)
- ・お客さまの事業課題、事業ステージに合わせた管理手法の提供(課題解決)

1 ISO審査 ～経営力を高める審査～

「ISOで会社を変える!」
マネジメントシステム規格を“経営ツール”として活用し、優れた改善の継続と経営目標達成をめざして、審査を行います。

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 品質マネジメントシステム
ISO 9001 | 医療機器-品質マネジメントシステム
ISO 13485 |
| 環境マネジメントシステム
ISO 14001 | 情報セキュリティマネジメントシステム
ISO/IEC 27001 |
| 食品安全マネジメントシステム
ISO 22000 | 労働安全衛生マネジメントシステム
ISO 45001 |
| 食品安全システム認証
FSSC 22000 | 生産者団体が活用する農場管理の基準
JGAP/ASIA GAP |
| 食品安全マネジメント協会
認証スキーム
JFS-C規格 | マーケットリサーチサービス
ISO 20252 |

など15種類の審査登録サービスを行っています(2018年3月現在)。



“使いこなす力”

ISOには、経営を体系化・可視化する力があります。そのために必要なのはISOを“使いこなす力”。ISOを最大限に活用いただくため、私たちは積極的な情報提供と密なコミュニケーションを図ります。

2 ISO研修 ～ISO活用ノウハウの宝庫～

長年のマネジメントに関する知識・手法をベースとした、日本能率協会ならではのISO研修プログラムです。
お客さまの“困っている”を解決するお手伝いをします。

■ 課題解決に最適なプログラム構成

● 公開研修

各社の抱える課題について、他社との研鑽を通じて学んでいただく場です。約50種類のラインナップより、課題に合わせてお選びいただけます。

● 講師派遣型研修

お客さまのご要望に合わせて、研修プログラムをカスタマイズします。研修内容を社内で同時に共有することで、効果的に展開することができます。

● 食品安全シンポジウム

食の安全・安心に関わる最新の企業事例・トピックをテーマに、講演者と参加者が討議し、共に考える場です。



3 温室効果ガス検証 ～環境経営の実現へ向けて～

温室効果ガス排出量の第三者検証機関として、公正・中立な活動を行います。

■ 情報開示された温室効果ガス排出量の検証

● CSR報告書検証・CDP検証

温室効果ガスの排出量(スコープ1.2.3)の検証を実施することにより、第三者検証報告書を発行します。

■ 幅広い制度に対応した検証

- 海外のCO₂削減・吸収プロジェクト(2国間クレジット制度)の審査、検証
- 企業の排出削減活動の各種制度(ASSETなど)の審査、検証
- J-クレジット制度(森林吸収、排出源)の審査、検証 ほか



未開拓領域を花開かせる



KAIIKA経営

社会の課題を意識し、新しいアイデアに挑戦する。組織の壁を越えて協働し、新しい価値を創造する。一人ひとりが働きがいを感じ、自ら成長する。こうした組織づくり、社会価値を創造する経営が「KAIIKA経営」です。多様化する時代、「個人の成長」「組織の活性化」「組織の社会性」が同時実現する世の中をめざし、私たちはKAIIKA経営を広めていきます。



JMA KAIIKA

1 KAIIKA Awards -表彰制度

多様性を活かす組織づくり・意識づくり、働き方、イノベーションの仕組みづくり、社会課題解決など、KAIIKA経営の実践に取り組んだ事例を表彰します。



2 Research & Study -研究、学習、交流の場づくり

KAIIKA経営モデルや実践事例(Awards受賞事例など)に関する研究、その成果としての書籍・レポート発刊などを通じ、KAIIKA経営実践のヒントを得る場を提供します。



3 Solution & Action Support -個別支援

KAIIKA度診断による企業・組織別課題の把握、および課題解決支援など、KAIIKA経営の実践を個別支援します。



アジアと共に次の豊かさを

アジアにおける課題先進国、日本。これまでに蓄積してきた課題解決の経験やノウハウは、急激に成長を遂げるアジア地域の産業・社会発展に活かされています。積極的にアジア地域の課題解決に挑戦することは、日本産業界にとって新しいビジネスチャンスでもあります。私たちは日本とアジアの産業界をつなぐ架け橋となります。



アジア共・進化

1 Research & Business Matching -専門家によるアジア事業進出・拡大支援

アジア事業の展開・拡大をめざす企業を対象に、国別・分野別のスペシャリストが現地市場調査・事業戦略・立案支援から、視察プログラム・現地企業との商談会・ビジネスマッチングなどを提供します。



2 Human Resources Development -アジアで活躍する人材の育成・交流

アジアに関連する様々な情報提供を行うセミナー・講演会や、公開研修、個別企業向けのカスタマイズ研修など、アジアで活躍する人材の育成を支援するとともに、各種交流活動を推進します。



3 Conference -事例発表会・国際会議の開催

アジアの日系企業のリーダー層の事例発表会、アジア各国の政府・学会・産業界と連携した業種別・課題別フォーラム・シンポジウムを開催します。



日本産業界の羅針盤として

日本能率協会の活動のベースにあるのは、実践的・実証的アプローチによる調査・研究の積み重ねです。マネジメントに関する調査・研究を深めるとともに、産業界の経営指針となる提言を発信しています。

JMA 研究



1 経営課題調査、調査レポート発刊

日本企業が抱える経営課題を明らかにし、これからの経営指針となるべくテーマや施策などを探る「企業経営課題に関する調査」をはじめ、人材マネジメントやものづくりに関する各種調査レポートを発刊しています。



2 経営革新提言

企業や産業界が抱える、その時々的重要な経営課題や諸問題の背景を研究し、企業が進むべき方向や対策などを提言しています。

2017年に発表した経営革新提言「KAIKA 経営の実践」は、これからの組織運営のあり方を問い直し、「ひと・組織・社会」の新たな価値観を提唱



3 機関誌『JMAマネジメント』発行(月刊)

経営課題や新しい経営技術情報、実務に役立つスキル・話題を取りあげ、JMA独自の視点で世の中の一步先を提示する経営・マネジメント情報誌。また、日本能率協会の活動や法人会員の情報もタイムリーに紹介します。



会員制度のご案内

充実したサービスで経営革新をサポート

日本能率協会の活動は、法人会員の皆さまの「経営を良くしたい」という想いに支えられています。現在、約1,350の企業・団体に入会いただき、ネットワークは全国に広がっています。各事業の利用(割引制度あり)や、情報収集・人脈形成など、さまざまな場面で活用いただいています。

JMA 会員



1 会員特典

- マネジメントに関する最新情報の提供
 - 機関誌「JMAマネジメント」(毎月)
 - 経営課題調査報告、各種調査資料
- 法人会員相互の交流
 - JMA会員交流フォーラム(会員限定・有料)
 - JMA情報交流会(会員限定・有料)
 会員限定の「経営課題を研究・研鑽する場」です。異業種交流の中から自社の課題解決のヒントがつかめます。
- 講演会へのご招待
 - JMAマネジメント講演会 <年6~8回>
 経営革新、生産革新、人材育成などに関するテーマの講演会です。
 - 一隅会(経営哲学懇話会) <年約6回>
 人格形成、経営哲学確立の一助として、文化人、高僧、碩学、その道の第一人者を招いた講習会です。
- 各事業の料金割引サービス
 - 公開セミナーの参加料金、展示会の出展料金が約10%割引になります。
- 教育無料相談
 - 経営革新や人材育成に関するご相談
 会員企業の経営や人材育成(研修)、事業革新に関する課題解決の相談に応じます。



2 会員構成

